

目標達成計画

作成日: 令和 6年 3月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念、行動計画等の掲示や会議で振り返りを行っているが、現状として、「大変」という思いが先に出てしまう事もある。又、施設の方向性、ルールを知らず、職員の個々の価値観等での判断をしてしまう事もある	<ul style="list-style-type: none"> ・理念、行動計画、重説、サービスの心得等を理解し共通認識を持ち、職員が同じ方向性に向く ・「大変」と思うケア、取り組みも楽しめるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念、重説、行動計画等、毎月の会議で勉強会の実施 ・苦戦、困難なケース等は、よりチームで情報交換、共有をしながら考え、達成に向け取り組む ・まずは管理者が楽しさを見せ、伝える 	12ヶ月
2	15 ～ 19	正しい情報での申し送り、意味への理解に不足。その為、ご家族様対応(説明)に不安を感じる	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい情報での申し送りができるようになる ・正しい情報での情報提供、相談援助の実践 ・意味を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ？」と疑問を持つ ・毎日の申し送り:疑問点は聞く、調べる ・決定事項等、どうしてそうなったのか等を伝えていく ・ご家族様への説明に不安を残す職員には、事前にトレーニング 	12ヶ月
3	11 ～ 13	自身が苦手と感じるものを避ける、目を背けてしまう事もある(気づいているが、逃げの目標等)	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の課題と向き合い、自身の成長が「チーム」へ貢献できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動規範にそって目標を立て、定期的に振り返る ・毎月のキャリアファイルの提出にて振り返る ・年2回の自己申告書で半期を振り返り、次期に向けて何が必要かを考える 	12ヶ月
4	13 23 ～ 27	目的意識、意味への理解が足りておらず、何の為に実施しているか理解ができていないケースもある	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識をもつ ・日々のケア、振り返りがケアプランに繋がられる ・居室担当者が積極的な把握、発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を明確にする ・居室担当の情報(記録)を毎日確認 ・実践できていない事への呼びかけを居室担当が率先して行う ・半年に1回のモニタリングでは日々の情報を元に振り返れるようにする 	12ヶ月
5	23 25 43 44 55	以前よりは活動性は上がったが、更に活動性を上げる	<ul style="list-style-type: none"> ・活動性を上げ、身体機能向上、口腔機能向上、脳の活性化、転倒予防に繋げる ・夜間の安眠、生活リズムを整える 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の観察、記録に残し、現状の把握 ・居室担当が中心となり、新に反映できる活動はないか、現状からUPできるものはないか等を考える 	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。